

学番26 新潟県立新発田農業高等学校

教科(科目)	外国語(英語コミュニケーションⅠ)	単位数	3単位	学年(コース)	1 学年
使用教科書	東京書籍『All Aboard English Communication I Revised』				
副教材等	東京書籍『高校英語入門』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①心身ともに健康で調和のとれた人格の形成を目指すとともに、現代の農業に対応し、地域に貢献できる力を育成する。 ②体験的な活動をととして、望ましい勤労観・職業観を育み、多様な課題に対応できる能力を育成する。 ③社会や地域の一員としての自覚を持ち、自らの成長のために挑戦しようとする心を育成する。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①知識や技能を習得させ、主体的に学習に取り組む態度を養う教育活動を展開します。 ②課題研究などの授業を通して、課題解決を図る探究的な学習活動に取り組みます。 ③地域や外部機関と連携し、地域や社会の方々との交流活動に取り組みます。

2 學習目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

3 学習計画

※知…知識・技能、思…思考・判断・表現、主…主体的に学習に取り組む態度

学期	月	授業計画	学習内容	時間	評価の観点※			備考
					知	思	主	
1 学期	4	Pre-Lesson 1 My Name Is Ito Neko	・be 動詞を用いた文の形、意味、用法を理解する。 ・自分の名前・性格などを、整理して、相手が理解しやすいように伝える。	4	○			課題テスト、小テスト等 定期考査 提出物 スピーチ エッセイ プレゼンテーション 音読テスト
		Pre-Lesson 2 I Like Junk Food!	・一般動詞を用いた文の形、意味、用法を理解する。 ・自分の日常の行動などを整理して、相手が理解しやすいように伝える。	3	○			
	5	Lesson 1 Breakfast around the World	・動詞の過去形の用法を理解する。また、過去にしたことについて動詞の過去形を用いて伝え合う。 ・世界の朝食に関する文章に	8	○	○	○	

		高校英語入門 1～4	ついて聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな食べ物について英語で述べる。 ・be 動詞、一般動詞		○	○	○	
	6	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas 高校英語入門 5	・進行形の用法を理解する。進行形の理解をもとに、好きな動物について考えや好み、その理由を伝え合う。 ・オーストラリアに生息する野生動物に関する文章について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな動物について英語で述べる。 ・進行形	9	○	○	○	
		文法のまとめ 1	・「be 動詞と一般動詞」「過去形」「進行形」の用法を理解し、相手とコミュニケーションをする。	2	○	○	○	
		Lesson 3 Life with Spade 高校英語入門 6, 7	・助動詞 can、will の用法を理解する。助動詞 can、will を用いて情報や考えを伝え合う。 ・布施蒼依さんと愛馬の生活に関する文章について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ある場所への行き方とそこでできることについて英語で述べる。 ・助動詞	8	○	○	○	
		1学期期末考査		1	○	○		
	7	Lesson 4 A Miracle Mirror 高校英語入門 10, 11	・to 不定詞の用法を理解する。to 不定詞を用いて情報や考えを伝え合う。 ・ある場所に関する文章について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、行ってみたい場所について英語で述べる。 ・不定詞	8	○	○	○	夏休み課題の提示
2 学 期	9	Lesson 5 A Dream Engine	・動名詞の用法を理解する。動名詞を用いて情報や考えを伝え合う。 ・「空気エンジン」を開発するユニークな工業高校の活動に関する文章について聞いたり読んだりしたことを活用しな	8	○	○	○	課題テスト、小テスト等 定期考査 提出物 スピーチ エッセイ プレゼンテーション 音読テスト

3 学 期	10	高校英語入門 12	がら、将来の夢について英語で述べる。 ・動名詞		○	○	○	
		文法のまとめ 2	・「助動詞」「to 不定詞」「動名詞」「接続詞」の用法を理解し、相手とコミュニケーションをする。	2	○	○	○	
		2学期中間考査		1	○	○		
		Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period	・受け身の用法を理解する。 受け身を用いて情報や考えを伝え合う。 ・歌川国芳の浮世絵に関する文章について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな絵について英語で述べる。 ・受け身	8	○	○	○	
		高校英語入門 15			○	○	○	
		Lesson 7 A Diary of Hope	・比較表現の用法を理解する。比較表現を用いて考えを伝え合う。 ・アンネ・フランクの生活と彼女の日記に関する文章について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、関心のある人物について英語で説明する。 ・比較	8	○	○	○	
		高校英語入門 13			○	○	○	
		2学期期末考査		1	○	○		
		Lesson 8 A Door to a New Life	・現在完了形の用法を理解する。現在完了形を用いて考えを提案する。 ・ロボットカフェに関する文章について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、人の生活を豊かにするロボットについて英語で提案する。 ・現在完了形	8	○	○	○	
		高校英語入門 16, 17			○	○	○	
		文法のまとめ 3	・「受け身」「比較表現」「完了形」の用法を理解し、相手とコミュニケーションをする。	2	○	○	○	
	1	Lesson 9 Ghosts in the Oceans	・名詞を後ろから説明する分詞の用法を理解する。名詞を後ろから説明する分詞を用いて考えを伝え合う。 ・ゴーストギアに関する文章について聞いたり読んだりし	10	○	○	○	冬休み課題の提示 課題テスト、小テスト等 定期考査 提出物 スピーチ エッセイ プレゼンテーション

		高校英語入門 18	たことを活用しながら、環境を守るためにできることについて英語で述べる。 ・分詞		○	○	○	
	2	Lesson 10 Pigs from across the Sea	・関係代名詞 who、which の用法を理解する。関係代名詞 who、which を用いて考えや情報を伝え合う。 ・第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助に関する文章について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外の文化や社会に対する理解を深める活動について英語で述べる。	10	○	○	○	
		高校英語入門 19	・関係代名詞		○	○	○	
		学年末考查		1	○	○		
	3	文法のまとめ 4	・「名詞を後ろから説明する分詞」「関係詞」「句読法」「文における区切り」の用法を理解し、相手とコミュニケーションをする。	3	○	○	○	
								春休み課題の提示

計 105 時間 (50 分授業)

4 評価の観点の趣旨

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けようとしている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができるようになっている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・授業に取り組む態度やペアワークやグループワークへの参加状況 ・ワークシート等の課題への取り組み状況 ・小テスト、定期考査、課題テスト、パフォーマンスタスク、音読テストなどから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業に取り組む態度やペアワークやグループワークへの参加状況 ・ワークシート等の課題への取り組み状況 ・小テスト、定期考査、課題テスト、パフォーマンスタスク、音読テストなどから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業に取り組む態度やペアワークやグループワークへの参加状況 ・ワークシート等の課題への取り組み状況 ・小テスト、定期考査、課題テスト、パフォーマンスタスク、音読テストなどから、評価します。

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	「聞くこと」 25 時間	「読むこと」 30 時間	「話すこと[やり取り]」 10 時間	「話すこと[発表]」 10 時間	「書くこと」 30 時間
-----------------	-----------------	-----------------	-----------------------	---------------------	-----------------

※ 増単している場合は、増単した割合に応じた授業時数を確保すること。

5 課題・提出物等

- ・小テスト、音読テスト
- ・スピーチ、エッセイなどのパフォーマンスタスクのワークシート、作品
- ・長期休業中課題

6 担当者からの一言

「聞くこと・読むこと・話すこと・書くこと」の4技能をバランスよく身に付け、英語で自分の考えを表現できるようになることを目標に、取り組みましょう。

教科(科目)	外国語(英語コミュニケーションⅡ)	単位数	3単位	学年(コース)	2学年
使用教科書	東京書籍『All Aboard! English Communication I』『All Aboard! English Communication II』				
副教材等	増進堂『英文法エッセンシャルノート』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①心身ともに健康で調和のとれた人格の形成を目指すとともに、現代の農業に対応し、地域に貢献できる力を育成する。 ②体験的な活動をととして、望ましい勤労観・職業観を育み、多様な課題に対応できる能力を育成する。 ③社会や地域の一員としての自覚を持ち、自らの成長のために挑戦しようとする心を育成する。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①知識や技能を習得させ、主体的に学習に取り組む態度を養う教育活動を展開します。 ②課題研究などの授業を通して、課題解決を図る探究的な学習活動に取り組みます。 ③地域や外部機関と連携し、地域や社会の方々との交流活動に取り組みます。

2 学習目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

3 学習計画

※知・知識・技能、思・思考・判断・表現、主・主体的に学習に取り組む態度

学期	月	授業計画	学習内容	時間	評価の観点※			備考
					知	思	主	
1学期	4	Lesson 8 A Door to a New Life	・現在完了形の用法を理解する。 現在完了形を用いて考えを提案する。 ・ロボットカフェに関する文章について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、人の生活を豊かにするロボットについて英語で提案する。	11	○			小テスト・音読テスト等 定期考査 提出物 スピーチ エッセイ プレゼンテーション
	5	Lesson 9 Fighting Plastic Pollution	・名詞を後ろから説明する分詞 ・環境を守るためにできることについて英語で述べる。	12	○	○	○	
	6	Lesson 10 Pigs from across the Sea	・関係代名詞 who, which ・海外の文化や社会に対する理解を深める活動について述べる。	12	○	○	○	

		文法のまとめ 4	・「名詞を後ろから説明する分詞」「関係詞」の用法を理解し、相手とコミュニケーションをする。	2	○	○	○	夏休み課題の提示
		1 学期末考査		1	○	○		
	7	Pre-Lesson My Plans for This Year	・to 不定詞、助動詞 will ・今年やってみたいことを to 不定詞や助動詞 will を用いて相手に伝える。	2	○		○ ○	
2 学期	9	Lesson 1 A Colorful Island	・関係代名詞 what ・海外の観光地や、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて述べる	11	○		○ ○	小テスト・音読テスト等 定期考査 提出物 スピーチ エッセイ プレゼンテーション
	10	Lesson 2 With the Beatles	・比較表現<more><the most> ・世代を超えて人気のある音楽バンドについて学び、好きな人物について述べる。	11	○		○ ○	
		2学期中間考査		1	○	○		
	11	Lesson 3 Wild Men	・it を用いた文<It is... (for ~) to ~> <It is... that ~> ・ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」について学び、身近な行事について述べる。	11	○		○ ○	
	12	文法のまとめ 1	・「知識」「関係代名詞」「比較表現」「it の用法」を理解し、相手とコミュニケーションをする。	2	○	○	○	冬休み課題の提示 小テスト・音読テスト等 定期考査 提出物 スピーチ エッセイ プレゼンテーション 春休み課題の提示
		2学期期末考査		1				
		Lesson 4 Little Hero	・間接疑問文 ・ハチドリやハチドリを主人公にした物語について述べる。	11	○		○ ○	
	1							
3 学期	2	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	・to 不定詞 ・歌舞伎と隈取について学び、日本の伝統文化について述べる。	12	○		○ ○	小テスト・音読テスト等 定期考査 提出物 スピーチ エッセイ プレゼンテーション
		学年末考査		1	○	○		
	3	文法のまとめ 2	・「間接疑問文」「to 不定詞を含む表現」「動詞の形と『時』の関係」の用法を理解し、相手とコミュニケーションをする。	4	○	○	○	春休み課題の提示

計 105 時間 (50 分授業)

4 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けようとしている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができるようにしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・授業に取り組む態度やペアワークやグループワークへの参加状況 ・ワークシート等の課題への取り組み状況 ・小テスト、音読テスト、定期考査、課題テスト、パフォーマンスタスクなどから、評価します。		

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	「聞くこと」	「読むこと」	「話すこと [やり取り]」	「話すこと [発表]」	「書くこと」
	25 時間	30 時間	10 時間	10 時間	30 時間

※ 増単している場合は、増単した割合に応じた授業時数を確保すること。

5 課題・提出物等

- ・小テスト
- ・スピーチ、エッセイなどのパフォーマンスタスクのワークシート、作品
- ・長期休業中課題

6 担当者からの一言

「聞くこと・読むこと・話すこと・書くこと」の4技能をバランスよく身に付け、英語で自分の考えを表現できるようになることを目標に、取り組みましょう。

(担当：英語科)

令和8年度シラバス（外国語）

学番26 新潟県立新発田農業高等学校

教科(科目)	外国語(英語コミュニケーションⅡ)	単位数	2単位	学年(コース)	3学年
使用教科書	東京書籍『All Aboard! English Communication Ⅱ』				
副教材等	増進堂『英文法エッセンシャルノート』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①心身ともに健康で調和のとれた人格の形成を目指すとともに、現代の農業に対応し、地域に貢献できる力を育成する。 ②体験的な活動をととして、望ましい労働観・職業観を育み、多様な課題に対応できる能力を育成する。 ③社会や地域の一員としての自覚を持ち、自らの成長のために挑戦しようとする心を育成する。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①知識や技能を習得させ、主体的に学習に取り組む態度を養う教育活動を展開します。 ②課題研究などの授業を通して、課題解決を図る探究的な学習活動に取り組みます。 ③地域や外部機関と連携し、地域や社会の方々との交流活動に取り組みます。

2 学習目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

3 学習計画

※知・知識・技能、思・思考・判断・表現、主・主体的に学習に取り組む態度

学期	月	授業計画	学習内容	時間	評価の観点※			備考
					知	思	主	
1学期	4	Reading 1 Mujina	・英語で書かれた <i>Mujina</i> の内容を理解する。 ・英語で書かれた <i>Mujina</i> の内容を読み取り、情景や登場人物の心情を相手に伝える。	6	○			春休み課題確認チェックテスト
	5		・「間接疑問文」「to不定詞を含む表現」「動詞の形と『時』の関係」の用法を理解し、相手とコミュニケーションをする。	5	○	○	○	定期考査提出物 スピーチ エッセイ プレゼンテーション
	6	Lesson 6 Seeds for Future Generations	・動詞の目的語になる if 節 ・京野菜について学び、地元の有名な場所やものについて伝え合う。	8	○	○	○	
		1学期期末考査		1	○	○		

	7	Lesson 7 Over the Wall	・関係副詞 where、when ・世界中で壁画を描く活動について学び、外国の人々と交流する方法について伝え合う。	6	○	○	○	夏休み課題の提示
2 学 期	9	Lesson 8 Inspiration from Nature	・知覚動詞を用いた文 ・生物模倣について学び、自然界のデザインをヒントに開発された製品について伝え合う	8	○	○	○	夏休み課題確認チェックテスト 定期考査 提出物 スピーチ エッセイ プレゼンテーション
	10	2学期中間考査		1	○	○		
		文法のまとめ 3	・「動詞の目的語になる if 節」 「関係副詞」「知覚動詞」の用法を理解し、相手とコミュニケーションをする。	7	○	○	○	
	11	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate	・使役動詞 ・チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について述べる。	7	○	○	○	
		2学期期末考査		1	○	○		
	12	Lesson 10 Fighting Angel	・分詞構文 ・ナイチンゲールの生涯や人を助ける職業について述べる。	6	○	○	○	冬休み課題の提示
3 学 期	1	文法のまとめ 4	・「使役動詞」「分詞構文」の用法を理解し、相手とコミュニケーションをする。	5	○	○	○	冬休み課題確認チェックテスト 定期考査 提出物 スピーチ エッセイ プレゼンテーション
	2	Reading 2 Bear's Pie	・英語で書かれた Bear's Pie の内容を理解する。 ・英語で書かれた Bear's Pie を、登場人物の気持ちが伝わるように朗読する。	6	○	○	○	
		学年末考査		1	○	○		
	3	Word Box 5 A Day in English: Part 2	・平日の生活でよく使われる語句や表現 ・平日の生活でよく使われる語句や表現を用いて発表する。	2	○	○	○	

計 70 時間 (50 分授業)

4 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けようとしている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができるようにしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 (小テスト、課題確認チェックテスト、中間考査、期末・学年末考査) ・ペアワークやグループワークの観察 ・ワークシート等の課題の内容の確認 ・パフォーマンスタスクの内容の確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 (小テスト、課題確認チェックテスト、中間考査、期末・学年末考査) ・ペアワークやグループワークの観察 ・ワークシート等の課題の内容の確認 ・パフォーマンスタスクの内容の分析などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業に取り組む態度やペアワークやグループワークへの取り組みの観察 ・ワークシート等の課題の内容の確認 ・パフォーマンスタスクの内容の分析などから、評価します。

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	「聞くこと」	「読むこと」	「話すこと[やり取り]」	「話すこと[発表]」	「書くこと」
	14 時間	20 時間	8 時間	8 時間	20 時間

※ 増単している場合は、増単した割合に応じた授業時数を確保すること。

5 関連する検定

・実用英語技能検定 3級、準2級、2級

6 課題・提出物等

・小テスト
・スピーチ、エッセイなどのパフォーマンスタスクのワークシート、作品
・長期休業中課題

7 担当者からの一言

「聞くこと・読むこと・話すこと・書くこと」の4技能をバランスよく身に付け、英語で自分の考えを表現できるようになることを目標に、取り組みましょう。

(担当：英語科)